令和７年度

すくわくプログラム活動報告書

（実施対象：１歳児クラス）

モニカ緑が丘園

Monica

テーマ

自然と光の関係性

設定理由

戸外活動において、自然物(葉、水、石、木の実等)に対して、直感的な興味を示していた。身近な光への興味も強く、自然素材と光の関係を体験することで、自然に対する豊かな感性をさらに育んでいきたい。

対象クラス　１歳児クラス・６名

活動のねらい　自然と光の関係性を知る

問　い　「どこが光っている？」「何が見える？」

活動期間　令和７年８月～１０月

活動回数　計３回

活動①

スタンドライトの光を感じる

環境構成

保育室内を薄暗くして、壁や白布に光や影が映るようにする。体や手足に光が当たることを感じる。

活動②

トレース台やライトで自然物を観察する

環境構成

身近な植物を用意し、自分で手に取り、トレース台で試せるようにする。
室内の観葉植物にライトを当て、白布に影が映るようにする。

活動③

自然物と光の関係性を知る

環境構成

身近な木々の画像をプロジェクターで白布に投影し、ミラーマットを画像の横に置く。
模造紙の上に木々の葉や枝を手に取りやすいように用意する。

R7.7.24

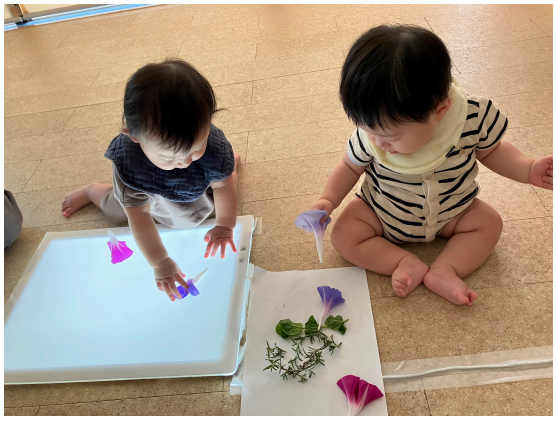
園の花壇から一緒に摘んできた
ミント、ローズマリーを
光に照らして…

手や指先で感触を確かめてみる
触っていくうちに香りがたち
顔に近づけて嗅いでみる

ライトに葉を近づけて、
光に照らしてみる

それぞれの角度から見て、感じて、
発見を一緒に喜び合いました。

お部屋の照明をおとした中に
自然物（ミント　ローズマリー　朝顔の花）と
トレース台の光



自分たちで摘んできた自然物を選びトレース台に
そっとのせていき。

光を通して見えるもの
なんだろう…
別の物も置いてみます

光による変化を感じ取り、思い思いに
自然物と向き合っていました

R7.8.29

季節が変化し色付いた桜の葉
プロジェクターで投影し、床に落ち葉を撒いて活動をしました

美しさに心が躍り、世界に入り込んでいきます

落ち葉を拾い上げ指先でちぎってみたり、ふわっと宙に投げてみたり…
香りに誘われて、鼻に近づけて嗅いでみたり…

空間の中で遊び込み美しい時間を一緒に過ごしました

R7.9.22

準備物

スタンドライト｜白布｜トレース台｜身近な植物の写真｜パソコン｜プロジェクター｜延長コード｜ミラーマット｜植物暗幕｜模造紙｜ペンライト

テーマ：自然と光の関係性

全体の振り返り

探究が始まった当初は、光の環境に対し戸惑う姿があった。日々の保育の中で光・使用する道具に触れる機会が増えてくると探究活動に夢中になっていく様子があった。最初は、個々で光をあてたり、トレース台に乗せたりしてひとりひとりの探究だったが、回数を重ねるごとに友だちが行ってる探究を真似してみたり、一々所に集まり白布に映る自身の影や友だちの影に触れたりと一緒の探究活動に変化していったように感じる。一緒に探究活動をしていく中で子どもたちの発見が大人にとって予想外の気づきになることもあった。子どもたちが影に気づき関係性を構築し深めていく過程を側で感じたことで大人にとって当たり前のことでも子どもにとっては新鮮で真新しいことだということを再認識できた。

終

株式会社モニカ

〒105-0004
東京都港区新橋1-9-5 KDX新橋駅前ビル 3F
TEL:03-6661-2466
FAX:03-6661-2467

モニカ緑が丘園

〒152-0034
東京都目黒区緑が丘2-7-20
TEL:03-6421-1231
FAX:03-6421-1081